

【スローステイ = 滞在・交流型ツーリズム】で、地域力を強化しませんか

地域の活力を高め、持続的に発展させてゆくためには
農などの第一次産業が元気であること
子供を安心して育てられる地域インフラがあること
都会の学校を出た子供達が故郷に帰ってきやすい環境であること
教育、医療など、「人」に依存する技術やノウハウが地域に蓄積されていること
が不可欠です。

未来志向に立って、これらを着実に前進させるにあたって、
【スローステイ = 滞在・交流型ツーリズム】で地方と都市の交流を盛んにし、
地域力を強化しませんか。

従来のツーリズムは< Short > で < Fast >

- ・スポット観光を中心とする短期滞在旅行
- ・分り易く、手っ取り早い楽しみ方を提供
- ・「お客様」と「受け入れ側」の関係に終始
- ・人の交流は限定的

スローステイ もっとゆっくり、もっと深く

- ・ある地域に“暮らすように”長期滞在する
- ・滞在地の環境と生活リズムに身をゆだねる
- ・地域の自然や伝統的生活文化を楽しむ
- ・土地の人々と、友人として交わる

「滞在・交流型ツーリズム」でめざすこと

< 都市住民 >

地域が育んできた自然環境や伝統的
生活文化の良さを再認識し、健康的で
知的なライフスタイルの糧とする。

< 地方住民 >

地域の自然・生活環境や伝統的文化
を守りながら、快適で魅力的なまちづく
りをさらに進める。

都市と地方の交流事業を促進

地域のシンパを増やし
ネットワークを広げる

半移住や定住の促進にもつなげ
お互いの技術やノウハウ、パワーを地域力強化に活かしてゆく。

「住んで良し・訪れて良し」のまちづくり

【スローステイ＝滞在・交流型ツーリズム】で期待できること

1 従来型観光より、経済効果と口コミ効果が高い

長期滞在者が滞在地で費消する金額は、概算次のように試算しています。(除く 往復の交通費)

一組の夫婦の1週間滞在に伴う現地消費は、3組の夫婦の一泊旅行額を上回ります。また、滞在が長くなればなるほど、より広く人が回遊し、その地域に対する理解と共感が深まります。

夫婦二人で1週間滞在	6泊7日	110,000円	宿泊 = 36,000 食費 = 42,000 現地雑費 = 32,000
夫婦二人の観光旅行	1泊2日	36,000円	旅館宿泊 + 昼食1回 = 30,000 現地雑費 = 6,000

食費には、一日当たり二人分の食材費 = 4千円に、若干の外食費を加算したものを。

現地雑費には、現地交通費、見学費などを含み、お土産代は含まない。

2 豊かな自然に根付いた生活文化と伝統を、ツーリズム資源として活かす

従来のような意味での華々しい観光資源に乏しい地域であっても、豊かな自然環境の中で、自然と賢く折り合いをつけて生計を立ててきた滋味豊かな生活振りや伝統文化とのふれあいが、都市住民にとって喜ばしい発見や発想転換をもたらし、健康的で知的なライフスタイルの糧となります。

3 第一次産業や地場産業の活性化に都市住民パワーを活用

現在、農業、林業、漁業などの第一次産業は、収支面や後継者の確保などで、大変厳しい状況下にありますが、これらの困難を打開する方策の一環として、都市住民のパワーの活用が各地で始まっています。

4 遊休資産の活用

地方には、過疎化の中で進む空き家や空き店舗、休耕田や耕作放棄地、手入れの行き届かない山林など、夥しい遊休資産が眠っています。これらの定期賃貸や共同利用権の設定などによって、都市住民の手を借りながら、再生・利活用してゆくことが可能となります。

5 既存宿泊施設の活性化

後継者難、経常収支の赤字などに悩む宿泊施設の思い切った業態転換の方法として、客室のリース方式の導入などが考えられます。また、リゾート地には、公営のコテージ村、個人の別荘、企業の保養所など、稼働率の著しく低い施設が大量にあり、これらの有効利用を進める必要もあります。長期滞在需要に適合できるような料金体系の見直し、定期賃貸に準拠した新たな部屋貸し制の導入などを行い、資産の有効活用を図ることが可能となります。

6 長期滞在への備えは、外客誘致にも有効

今後外客を誘致したい地方都市にあっては、土地の魅力や個性の明確なアピールと割安な長期滞在向き施設の提供が、個人旅行の販促面で大きな力となります。特に、テストマーケティングとして、在日外国人へのアプローチが効果的で、母国の知人友人に対する口コミ宣伝が期待できます。

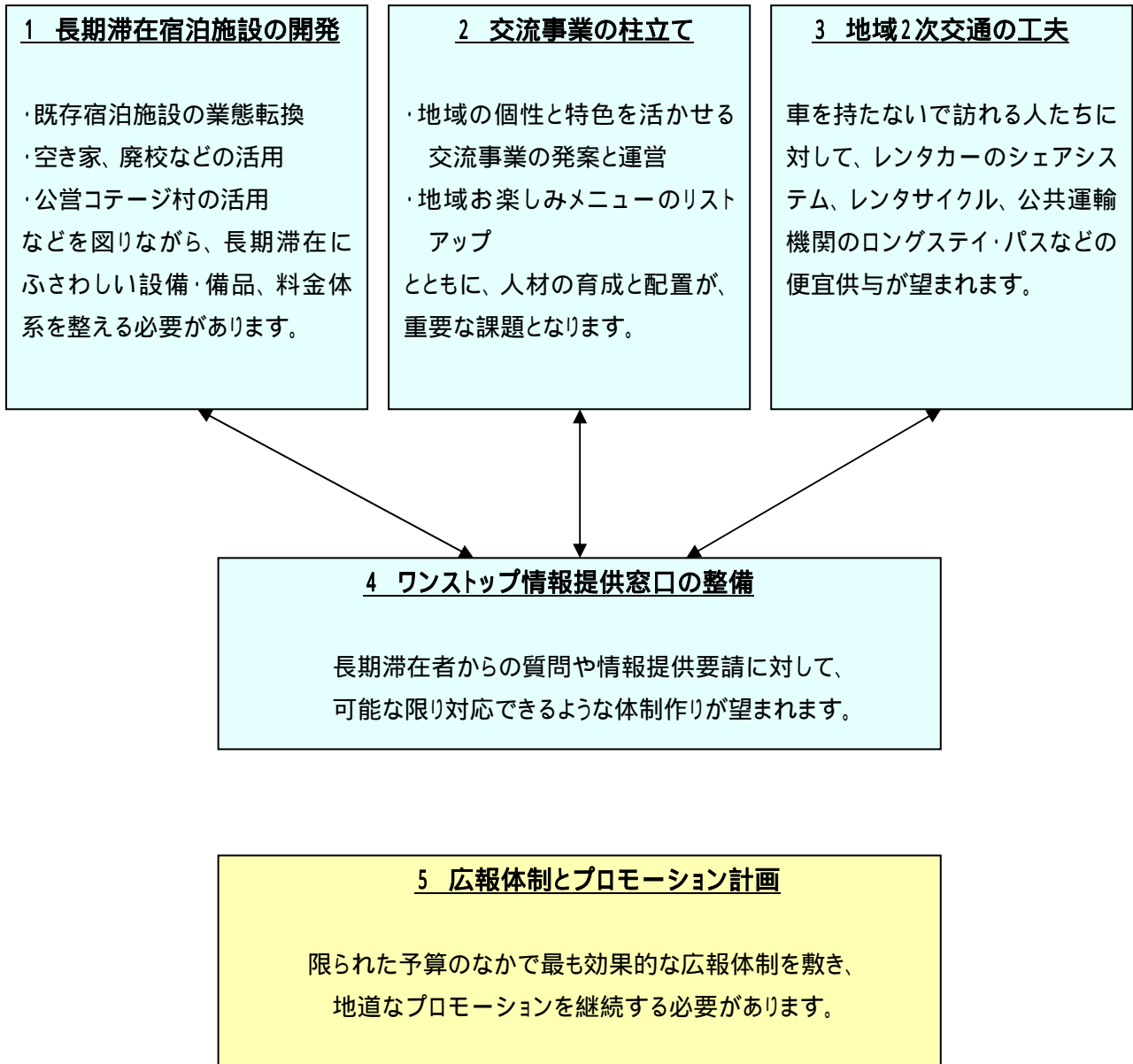
7 半移住や定住促進に向けての助走的効果

地方における移住政策に弾みをつけるためには、長期滞在のプロセスは欠かせません。地域に対する理解と共感が醸成されて、はじめて、人々の移住にむけての決断が促されるからです。

スローステイの促進に向けて必要なこと

スローステイを促進するには、従来の観光振興とは異なる視点から、体制の整備とプロモーション方法を準備する必要があります。

具体的検討にあたっては、自治体、関係団体、市民、企業のみならず、域外の専門家も含めた多面的な検証が望まれます。



地域の自立性を確立し、外に広がるネットワーク作りを進めることによって、多くの人が集まってくる魅力的なまち・むらを作ろうではありませんか。

【交流・暮らしネット】は、こんなNPOです

NPO法人【交流・暮らしネット】は、大手旅行会社に勤めていたOB、OGが中心になって設立した特定非営利活動法人です。2006年10月に千葉県の認証を受け、07年4月より対外活動を開始しました。

これまでの主な活動は、

NPOのホームページ【スローステイ倶楽部】 < <http://www.slowstay.org> > での長期滞在の呼びかけと長期滞在向き施設の紹介、ならびに、【スローステイ倶楽部・ブログ】

< <http://slowstay.blogspot.com> > での地域紹介

首都圏での地域紹介セミナーの開催

長期滞在プログラムのコーディネイト

地方自治体や地域観光協会などへの長期滞在振興のコンサルテーション

等々です。

企画調査や広報・販促活動のお手伝いをいたします

私達NPO【交流・暮らしネット】は、滞在・交流型ツーリズムの振興に関して、地元の方の皆さんの意見や意向、地域の実態などを十分に加味して、調査分析と具体的展開方の提案や販促・広報活動のコーディネイトをいたします。

域外からの旅行流入実態に関する調査分析と現状の問題点の把握
土地の魅力と個性についての客観的評価と交流事業テーマの設定
滞在・交流型ツーリズムを興すための具体的な柱立てと実行計画の提案
予算規模に応じた広報ならびに販促プロモーション計画の提案と実施

本格的な調査・提言実施前の予備調査とコンサルもお受けします

本格的な調査・提言の前段階で、地域の皆さんの意向ヒアリング、活用可能資源の調査、滞在・交流型ツーリズム振興の効果見通し、などの予備調査とコンサルを出張・滞在実費+5万円でお受けします。(所要日数 4~5日間)

< 詳しいお問合せ先 >

NPO法人交流・暮らしネット事務局 永田

電話: 050 - 3067 - 1280

メール: info@slowstay.org

スローステイ
倶楽部